

OECD 編著「世界の教育改革3 OECDの教育政策分析」明石書店 2009年4月30日刊を読む

成人生涯学習への投資を - 成人の生涯学習が持続するために -

1. ある特定の年齢集団のスウェーデン男性を50年にわたって経時的に追っていった研究があるが、そこからわかるのは、初期教育と収入との相関は年齢を経るにつれて減少していくのに対して、成人教育への参加と収入との相関は43歳をピークとするまで上昇し、その後は減少するものの、その減少する割合も初期教育だけの人よりはゆっくりとなっている(Tuijnman、1989)。
2. それに比べて成人教育への参加と職業上の地位との相関は強く、しかも確実に上がっていたが、56歳ぐらいまでには初期教育を受けた人とほとんど同じになってしまっていた。
3. 全体としてみれば、成人学習は職業上の地位や収入に強烈な影響を与えているという結論を出した。
4. Jenkins et al.(2002)はイギリスの経時的データを用いて、資格を取得したことの影響が33歳と42歳とではどのくらい異なるのか分析した。
5. その研究からは、1991年時点で何の資格も持たなかった人が、その後資格を取得したことで2000年までにはその間何もしなかった人に比べてはるかに高い収入を得るようになったということがわかっている。
6. しかもそのことはすでに資格を取得している人たちや、その期間により高い資格を取得した人たちの給料にとって積極的な効果をもたらしている。
7. しかしながら結果はさらに複雑である。
8. 結論として最もはっきりいえることは、「学習が学習を導き出す」ということである。
9. つまり、何か1つの資格を取ろうとして学習を始めることで、さらに勉強しようとする人が増える可能性があるということである。

P180 ~ 181

[コメント]

学校を卒業した後の教育を受け続ける人の収入は増え続ける。個人のレベルでも、こと教育に関しては努力は必ず報われる。地域社会や国家のレベルでも成人教育に関しての投資は社会の発展・成長を促す。一人ひとりの人生の成功と持続的に発展する社会の形成のために成人教育を。

- 2009年10月20日 林明夫記 -